

正しい知識で備えよう、防災のこと。

近年、日本全国で気候変動により想定を超える災害が多発しています。平成30年7月に発生した西日本豪雨災害では九州地方を記録的な大雨が襲いました。

本町においても、7月上旬から降り続いた豪雨の影響により、町内の一部地域において倒木や土砂崩れ、道路の一時通行止めなどの被害が発生しました。

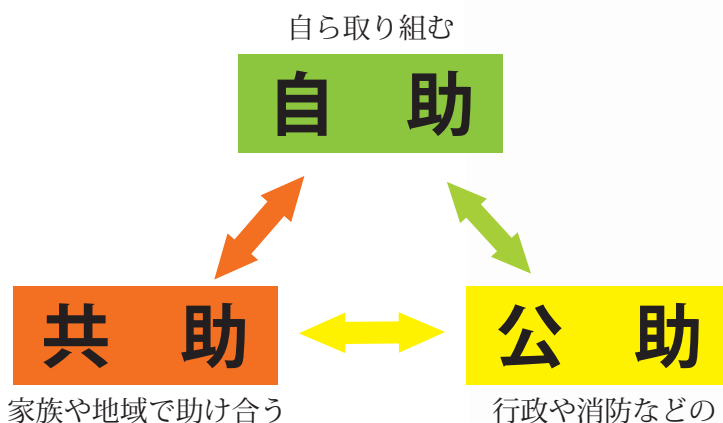
『天災は忘れたころにやってくる』という言葉がありますが、近年では、毎年必ずと言っていいほど災害が発生しています。

そして、新型コロナウイルス感染症拡大により、避難場所における3密を避けるため、『分散避難』という新しい避難の仕方が出てきています。天災は事前に防ぐことはできません。梅雨による大雨や台風がきいてから避難先や避難方法を考えるのは間に合わない場合があります。町のホームページや気象庁の情報を確認し、あらかじめ、避難先や避難方法を考え備えておくことが大切です。

■災害時に助けてくれるのは誰？

大規模な災害になればなるほど、多くの災害が起これば起こるほど、町・消防・自衛隊等の公的機関が全ての事態に対応することが難しくなります。

防災の基本は『自助』です。まずは自分を守る行動をとるようにしましょう。それから協力できる方は、周りを支援するようにしましょう。これが集落やコミュニティでの『共助』です。



■自治体からの避難情報

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報	発信
高 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令	市町村
4	速やかに危険な場所から避難先へ避難 しましょう。公的な避難場所への移動が危険な場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう	避難勧告・避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令	市町村
3	避難に時間を要する人（ 高齢の方、障害のある方、乳幼児など ）とその 支援者 は危険な場所から避難をしましょう	避難準備 高齢者等避難開始	市町村
2	避難に備え、ハザードマップなど自らの 避難行動を確認 しましょう	洪水注意報・大雨注意報	気象庁
低 1	災害への心構えを高めましょう	早期避難情報	気象庁